学校番号	４１２

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校 政治・経済（第一学習社）						
副教材等	最新 政治・経済資料集 2026（第一学習社）, 入試対策問題集 ステップアップ公共、政治・経済（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１．予習・復習は自分で行うものです。「政治経済」は最新の社会情勢を中心に社会のしくみや問題点を論じていきますので,新聞やテレビなどのニュースには注視し,日常生活の中で身近になるようにメディアには触れていてください。

２．一般的に社会の授業では板書と口述による説明が流れるように行われますので,授業の本筋である板書事項の記述及び整理と口述による説明部分のメモ書きを上手に両立するノートの取り方を要求します。

３．授業に際しては,主体的に参加することを要求します。そのなかで理解できない事項や説明,聞き逃しによる事項などは積極的に授業を止めてください。それが他の人への学習効果のあがる質問になることが多分にありますので,とことん突き詰めて考えることにより,疑問点を見いだす授業の受け方を要求します。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】

社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに,諸資料から,社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し,説明するとともに,身に付けた判断基準を根拠に構想する力や,構想したことの妥当性や効果,実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して,合意形成や社会参画に向かう力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに,多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される,国民主権を担う公民として,自国を愛し,その平和と繁栄を図ることや,我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に,より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身に付けた判断基準を根拠に構想する力や，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断している。	よりよい社会の実現を視野に，国家及び社会の担い手として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	市場経済の機能と限界	①経済活動と市場 ②経済主体と経済循環 ③国民経済の大きさと経済成長 ④物価と景気変動 ⑤市場の失敗と公害・消費者問題 ■諸課題へのアプローチ「外部不経済の内部化の方法」	a：経済の役割と，市場経済における人々の選択や資本主義経済の特質とその変容，三つの経済主体の活動と，経済循環における役割，株式会社のしくみと株主との関係，ストックとフローの概念や，ＧＤＰなどの指標，経済成長率における名目と実質の違いや，経済成長の要因，インフレとデフレの原因と影響，景気変動のしくみ，物価や景気の変動に対する政府の施策，さまざまな市場の失敗の事例と，その弊害，公害と消費者問題に対する施策について，理解している。 b：価格はどのようにして決まるのか，具体的な市場を取り上げて多面的・多角的に考察し，表現している。また，企業の社会的責任のあり方について，自立した消費者としてどのような行動をとるべきか，市場の機能と限界や解決のあり方について，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：「市場経済の機能と限界」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト 定期考査	提出課題 授業態度 発問評価 定期考査	レポート提出 提出課題 授業態度 発問評価
	持続可能な財政および租税のあり方	①財政のしくみと租税の意義 ■諸課題へのアプローチ「持続可能な財政を実現するための税制のあり方」	a：財政の機能としくみや租税の種類やその特徴について，理解している。 b：財政における国と地方の役割分担や持続可能な財政のあり方について，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：「持続可能な財政および租税のあり方」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト 定期考査	提出課題 授業態度 発問評価 ミニ討論 定期考査	レポート提出 提出課題 授業態度 発問評価 ミニ討論

2学期	金融を通した経済活動の活性化	①金融のしくみとはたらき ■諸課題へのアプローチ「資金の流れと起業における資金調達のあり方」	a：金融のはたらきと金融機関の役割や日本銀行の金融政策とその影響について，理解している。 b：現在の金融をめぐる動向とその課題や金融を通した経済活動の活性化のしくみやあり方について，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：「金融を通した経済活動の活性化」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト 定期考査	提出課題 授業態度 発問評価 ミニ討論 定期考査	レポート提出 提出課題 授業態度 発問評価 ミニ討論
	経済活動と福祉の向上	①日本経済の変化と中小企業・農業問題 ②労使関係と労働問題 ③社会保障制度と福祉のあり方 ■諸課題へのアプローチ「格差の理由とその対策」	a：日本経済における産業構造の変化や現在の日本経済の現状と課題，労働三法の内容，日本の社会保障制度について，理解している。 b：日本の中小企業や農業経営者が直面している課題や現在の日本の労働問題や，労働環境をめぐる課題，日本の社会保障制度の課題，経済活動と福祉の向上との関連について，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：「経済活動と福祉の向上」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト 定期考査	提出課題 授業態度 発問評価 定期考査	レポート提出 提出課題 授業態度 発問評価
	相互依存関係が深まる国際経済の特質	①貿易の現状と意義 ②国民経済と国際収支 ③為替相場の変動 ④国際協調と国際経済機関の役割 ■諸課題へのアプローチ「国際経済の現状と課題」	a：比較優位の考え方や国際分業の利点，国際収支統計の基本的な構成，変動相場制における為替相場の決定のしくみ，日本の対ドル為替相場の推移と，日本経済の動向，さまざまな国際経済機関の役割や課題について，理解している。 b：現在の世界と日本の貿易の現状と動向や国際収支の動向をもとに，日本の対外経済取引の現状，地域的経済統合やＦＴＡ・ＥＰＡの意義と課題，国民経済と国際経済の関係において，国益と地球的な規模での協調が求められている現状と問題点について，考察し，表現している。 c：「相互依存関係が深まる国際経済の特質」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト 定期考査	提出課題 授業態度 発問評価 定期考査	レポート提出 提出課題 授業態度 発問評価

3学期	国際経済において求められる日本の役	①国際経済における日本の地位と国際協力 ■諸課題へのアプローチ「国際経済の安定と成長に向けた日本の役割」	a:国際経済における日本の地位について，理解している。 b:国際経済の安定と成長のために果たすべき日本の役割について，考察，構想し，表現している。 c:「国際経済において求められる日本の役割」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト	提出課題 授業態度 発問評価 ミニ討論	レポート提出 提出課題 授業態度 発問評価 ミニ討論
	国際社会の諸課題の探究	①グローバル化にともなう人々の生活や社会の変容 ②国際経済格差の是正と国際協力 ③人種･民族問題や地域紛争の解決に向けた国際社会の取り組み	a:社会的な見方・考え方を総合的に働かせ，他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる国際社会の諸課題を探求する活動を通して，取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察，構想し，よりよい社会のあり方についての自分の考えを説明，論述している。 b:諸課題の探究にあたって，国際社会の動向に着目したり，諸外国における取り組みや，国際連合における持続可能な開発のための取り組みなどを参考にしたりしている。 c:取り上げた課題について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決し，合意形成や社会参画に向かおうとしている。	小テスト	提出課題 授業態度 発問評価 ミニ討論	レポート提出 提出課題 授業態度 発問評価 ミニ討論

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度